

欧州型ドクターカーの導入



プリウス1500EXG救急仕様

8月の練習走行を経て9月9日田辺市消防本部よりの依頼で初出動、毎月約10件出動し成果を上げています。平成23年4月1日現在御坊市消防本部とも協定し、中紀・紀南地域を広くカバーしています。

平成22年8月2日に田辺市消防本部、白浜町消防本部、日高広域消防組合のご協力の下、ドクターカーの運用に関する協定を締結しました。

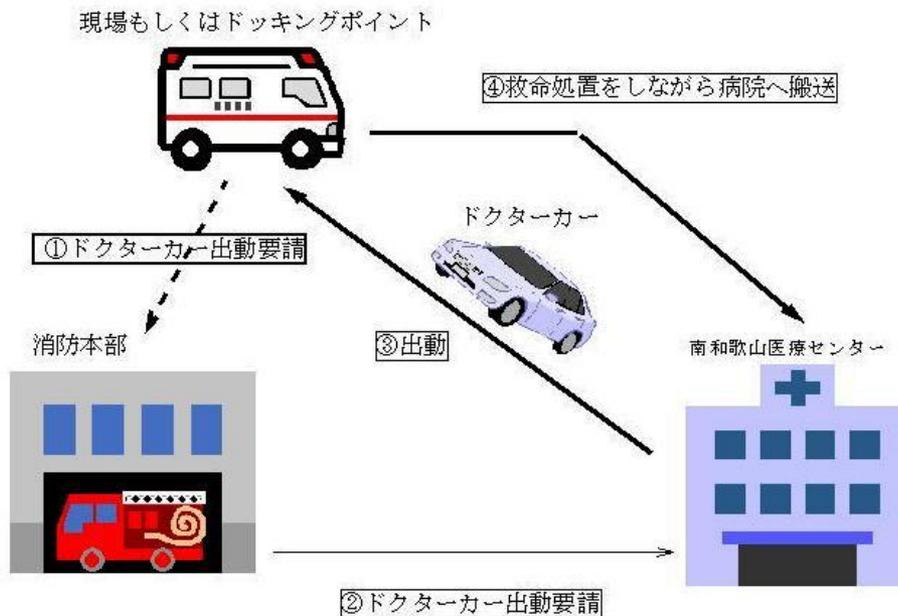


田辺市消防本部との走行訓練

欧州型ドクターカーとは

【ドクターカー運用概念図】

- ①②救急本部よりの依頼
- ③現場又はドッキングポイントへ出動
- ④救急車に同乗し救命処置をしながら病院へ搬送



○医師を迅速に現場に送り込むことにより、地域住民の救命率向上をめざす。

乗用車タイプのドクターカーで、**医師・看護師を救急現場にいち早く投入するため、「目撃例のあるCPA等」**に各消防本部よりの要請に基づき緊急車両として出動します。**(一般からの要請は出来ません)**

緊急走行用の赤色灯サイレンはもとより、車内には消防無線や救急医療に必要な機材、薬剤が装備され、**救急現場近くで救急車とドッキングし、病院に到着するまでに高度な救急医療処置を行うため、救命救急センターより医師、看護師や消防署の救命救急士が同乗します。**